

折に触れ 四字熟語

NO. 19 『鳴蟬潔飢』 めいせん けつき

< 意味 > 高潔の士はどのようなときにも節操を変えないたとえ。

通 釈 : 蟬は高潔な性格なので飢えても汚いものは食べないの意。

別の辞書では、蟬は気高く澄んだ心を持っているので、飢えても露以外の汚れたものを食べることはないという伝説から、となっています。

一 言 : 動物、昆虫シリーズその1

蟬しぐれのころ「蟬」をテーマにと思いつつ、秋蟬の季節になってしまいました。

蟬が含まれた四字熟語はいくつかあります。そのうちの二つですが

「蛙鳴蟬噪（あめい せんそう）」役に立たない議論や、内容に乏しく下手な文章の意味。

「春蛙秋蟬（しゅんあ しゅうぜん）」うるさいだけで、役に立たない無用な言論のたとえ。

いずれも蟬は役に立たないものにされています。私も熱い最中のうるさいものと思いましたが、この四字熟語を知ってからは、蟬さんを見直し、樹木の枝にその姿を探すことが多くなりました。

政治家に限らず蟬のような高潔な人物が排出することを期待しています。

参考文献 : 漢検協会「四字熟語辞典」